【活動報告】地域のユネスコ協会におけるユネスコ教育勧告の普及に関する活動

資料４

■ 「ユネスコ教育勧告」 50年ぶりに改定(2023年11月)

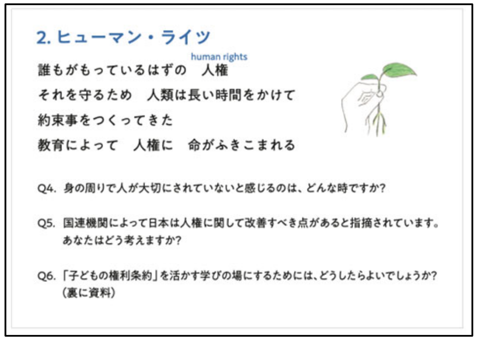
■ 「ユネスコ教育勧告改定記念イベント」への参加

(2024年1月25日～27日　日本国際理解教育学会主催)

【イベント内容】
- ・1日目「1974年ユネスコ教育勧告」
- ・2日目「2023年ユネスコ教育勧告」
- ・3日目「未来に向けて『ユネスコ教育勧告』をどう活かすか」
  畠山澄子(ピースボート)・平澤香織(ユネスコスクール横浜市立東高等学校)
  芦田崇(日本ユネスコ協会連盟)

■ 「ユネスコ教育勧告」のセミナー、カード型教材を活用しワークショップ実施

ユネスコ教育勧告の重要なポイントである「14の主導原則」のカード型教材を活用したワークショップを開催。
主導原則のキーワード「コモングッド」「トランスフォーメーション」などについて、カードに書かれた問いにそって対話し、全体会で共有し理解を深めている。



2. ヒューマン・ライツ

誰もがもっているはずの　人権(human rights)
それを守るため　人類は長い時間をかけて
約束事をつくってきた
教育によって　人権に　命がふきこまれる

Q4. 身の周りで人が大切にされていないと感じるのは、どんな時ですか?

Q5. 国連機関によって日本は人権に関して改善すべき点があると指摘されています。
あなたはどう考えますか?

Q6. 「子どもの権利条約」を活かす学びの場にするためには、どうしたらよいでしょうか?
(裏に資料)

2. ヒューマン・ライツ

Grounded in rights and corresponding obligations, enshrined in international law and international human rights law, including all civil, cultural, economic, political and social rights, and the right to development, and operationally directed to promoting and protecting human rights.

すべての市民的、文化的、経済的、政治的・社会的権利、
および発展の権利を含む国際法および国際人権法に明記された権利
およびそれに対応する義務にもとづいて、人権の推進と擁護を目的とする。

子どもの権利条約

【参考:3つの問い事例】

Q4.　身の周りで人が大切にされていないと感じるのは、どんな時ですか?

Q5.　国連機関によって日本は人権に関して改善すべき点があると指摘されています。
あなたはどう考えますか?

Q6.「子どもの権利条約」を活かす学びの場にするためには、どうしたらよいでしょうか?

※カード型教材は、文科省のユネスコ活動費補助金(令和6年度)事業の一環として聖心女子大学及び日本国際理解教育学会の有志が作成

【参考】カード型教材サイト 【誰でもアクセス・ダウンロード可能】

ユネスコ教育勧告カード型教材サイト

14 Cards

ドをクリックして詳細をご覧ください。もう一度クリックすると裏面が表示されます。

Menu

1. コモン・グッド

教育はみんなのもの(common)
誰もが受けられるタカラモノ(good)

Q1. 誰もが受けられるはずの教育を受けられない人々がいます。どんな人々でしょうか? 学校のほかで教育を実現している場には、どのようなところがありますか? (裏に資料)
Q2. 近年、民間の情報産業や企業が公教育に大きな影響力をもち、サービス産業化されているという見方がなされるようになりました。あなたはこのことについてどう考えますか?
Q3. 近ごろ、教育は私的なものという考え方が広まっているように見受けられます。教育を社会の「共通の財産」(common good)としていくためには、どうしたらよいのでしょうか?

2. ヒューマン・ライツ

誰もがもっているはずの　人権(human rights)
それを守るため　人類は長い時間をかけて
約束事をつくってきた
教育によって　人権に　命がふきこまれる

Q4. 身の周りで人が大切にされていないと感じるのは、どんな時ですか?
Q5. 国連機関によって日本は人権に関して改善すべき点があると指摘されています。あなたはどう考えますか?
Q6. 「子どもの権利条約」を活かす学びの場にするためには、どうしたらよいでしょうか? (裏に資料)

3. ライツホルダー

どんな違いがあろうとも
だれもが差別されない権利をもっている
学びによって　すべての人を
「権利をもつもの」(rights holder)として　力づける

Q7. 何気なく偏見をもったり差別したりしていた自分に気づいたことはありますか?
Q8. なぜ偏見や差別は生まれるのでしょうか?
Q9. 学習者の誰もが、自分が「権利をもつもの」なんだと自覚できるようになるためには、どうすればよいのでしょうか? (裏に資料)

4. コンヴィヴィアル

人の痛みを　自分の痛みとする
共に生き生きと(convivial)互いに活かしあう

Q10. あなたが誰かと一緒に生き生きとしたり、ワクワクしたりする時はどんな時ですか?
Q11. 人の心の痛みが自分の痛みとなる共感共苦(コンパッション)を経験したり、聞いたりしたことはありますか? そのとき、どのようなことを感じましたか?
Q12. 競わされるような関係性ではなく、和気藹々(わきあいあい)と互いに活かしあうような関係性を学びの場でつくるためには、どうしたらよいと思いますか?

5. ジェンダー

教育に　ジェンダー(gender)平等を
それは　女子や女性を
勇気づけることの鍵

Q13. 女性であることで辛い思いをしたことがありますか? あるいはそのような苦労をした人を知っていますか?
Q14. 日本は世界的にみてジェンダー平等が達成されていないと評価されていますが、なぜだと思いますか? 学びの場で改善できることはありますか? (裏に資料)
Q15. 学びの場で性的マイノリティの子どもたちも暮らしやすくするには、どのような工夫が必要だと思いますか?

6. インクルーシブ

一人ひとりが　多様性をもつ
かけがえのない存在
誰も排除せず(inclusive)　その人が大切にしている
歴史・文化・言語を守るのが教育

Q16. あなたのまわりの人々がもつ多様性には、どのようなものがありますか?
Q17. 人々が大切にしている歴史・文化・言語がないがしろにされていると感じたことはありますか? それはどんな時ですか?
Q18. 誰もがもつ多様性を排除しないインクルーシブな社会を創るには、どうしたらよいと思いますか?

JA

出典:聖心女子大学グローバル共生研究所(https://kyosei.u-sacred-heart.ac.jp/unesco2023/)

【活動報告】地域のユネスコ協会におけるユネスコ教育勧告の普及に関する活動

■ レクチャー＆カード型教材によるワークショップ実施

ワークショップでは、カードに書かれた3つの問いについて、グループ討議が行われ、全体会で共有し理解を深めています。会員のみならず、大学ユネスコクラブの学生、ユネスコスクールの高校生も自発的に参加。

東京都ユネスコ連絡協議会
2000人プロジェクト

【24年10月】

東京都ユネスコ連絡協議会
都ユ連青年・学生研修会

【25年2月】

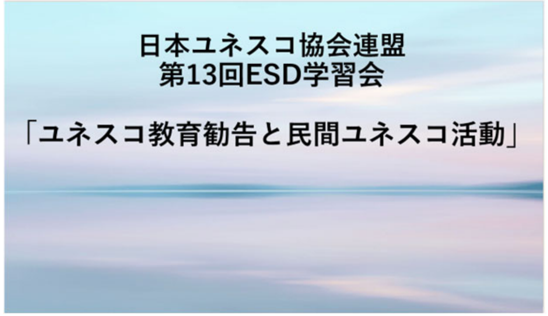
ユネスコスクールでの開催
都立三田高等学校・ユネスコ委員会

【25年3月】

■ シンポジウム及び日本ユネスコ協会連盟ESD学習会

ユネスコ協会でのシンポジウム開催
港ユネスコ協会【25年1月】

日本ユネスコ協会連盟・オンライン学習会【25年7月】



民間ユネスコ活動とユネスコ教育勧告

- ○ユネスコ教育勧告の普及促進
  - ・各地でのイベント・ワークショップの開催、出前授業
  - ユネスコスクール・学校との連携
- ○広報活動
  - ・マスコミへのＰＲ、ユネスコ協会会報・ＨＰ・ＳＮＳでの発信
- ○日本ユネスコ協会連盟の事業との連携
- ○文科省・日本ユネスコ国内委員会との連携
  - ・普及・レビュー・フォローアップ
- ○他団体との連携
  - ・日本国際理解教育学会他　関係学会・NGOなど